

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年8月8日

【四半期会計期間】 第72期第1四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

【会社名】 ロンシール工業株式会社

【英訳名】 LONSEAL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 門脇進

【本店の所在の場所】 東京都墨田区緑四丁目15番3号

【電話番号】 03(5600)1876

【事務連絡者氏名】 経理部長 江口幸治

【最寄りの連絡場所】 茨城県土浦市東中貫町5番地の3

【電話番号】 029(832)8805

【事務連絡者氏名】 経理部長 江口幸治

【縦覧に供する場所】 ロンシール工業株式会社大阪支店
(大阪市淀川区西中島六丁目9番27号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第71期 第1四半期連結 累計期間	第72期 第1四半期連結 累計期間	第71期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	4,561,299	4,795,220	21,018,614
経常利益 (千円)	130,818	204,375	1,300,600
四半期(当期)純利益 (千円)	69,672	148,046	774,984
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	115,808	184,277	870,873
純資産額 (千円)	9,359,884	10,296,619	10,112,397
総資産額 (千円)	18,881,770	20,098,608	20,179,946
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1.45	3.09	16.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	49.5	51.2	50.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済金融政策を背景に企業収益や雇用環境が改善されるなど、緩やかな回復傾向が見られたものの、消費税率引き上げによる消費の停滞や円安による輸入品価格の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

建設業界及び合成樹脂加工品業界におきましては、需要に回復傾向がみられるものの、販売競争の激化、原材料価格の高止まり等により引き続き厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような状況の下、営業力の強化と積極的な販売活動に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、47億95百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間においても徹底したコストダウン及び諸経費の削減などの諸施策を実施してまいりました結果、営業利益は1億81百万円(前年同期比66.0%増)、経常利益は2億4百万円(前年同期比56.2%増)、四半期純利益は1億48百万円(前年同期比112.5%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[合成樹脂加工品事業]

主力の建材製品は、国内床材、防水資材、住宅資材、壁装用品が売上増となりましたが、輸出用床材は売上減となりました。また、産業資材製品は、車両用床材及び欧米向けフィルムが売上増となりました。

この結果、売上高は46億96百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は1億5百万円(前年同期比221.3%増)となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸料収入は、売上高は99百万円(前年同期と同額)、営業利益は76百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度より81百万円減少し、200億98百万円となりました。その主な原因といたしましては、商品及び製品が3億85百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が4億89百万円減少したことによるものです。

負債の部では、前連結会計年度より2億65百万円減少し、98億1百万円となりました。その主な原因といたしましては、長期借入金が増加したものの、短期借入金、未払法人税等がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産の部では、前連結会計年度より1億84百万円増加し、102億96百万円となりました。その主な原因といたしましては、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は68百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	48,253,094	同左	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株です。
計	48,253,094	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年6月30日		48,253,094		5,007,917		4,120,573

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等) (注)1	(自己保有株式) 普通株式 331,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,605,000	47,605	
単元未満株式 (注)2	普通株式 317,094		
発行済株式総数	48,253,094		
総株主の議決権		47,605	

(注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」の331,000株は、全て当社保有の自己株式です。

2 「単元未満株式」の中には、株主名簿上は当社名義となっているが実質的に所有していない株式500株及び当社所有の自己株式68株が含まれています。

3 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ロンシール工業(株)	東京都墨田区緑四丁目 15番3号	331,000		331,000	0.68
計		331,000		331,000	0.68

(注) このほか株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が500株及び当社所有の自己株式が68株あります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、聖橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,968,279	3,970,090
受取手形及び売掛金	6,166,832	5,677,704
電子記録債権	407,941	388,777
商品及び製品	2,409,818	2,795,497
仕掛品	114,623	121,493
原材料及び貯蔵品	711,113	712,083
その他	495,584	467,607
貸倒引当金	4,499	2,193
流動資産合計	14,269,695	14,131,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,481,082	9,481,082
機械装置及び運搬具	9,567,994	9,574,967
工具、器具及び備品	3,266,352	3,300,873
土地	2,434,412	2,434,412
リース資産	171,201	5,097
建設仮勘定	69,273	84,592
減価償却累計額	19,832,561	19,736,151
有形固定資産合計	5,157,755	5,144,874
無形固定資産		
その他	71,813	65,141
無形固定資産合計	71,813	65,141
投資その他の資産		
投資有価証券	530,321	607,910
その他	174,542	173,801
貸倒引当金	24,181	24,181
投資その他の資産合計	680,682	757,531
固定資産合計	5,910,251	5,967,547
資産合計	20,179,946	20,098,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,811,238	2,926,806
電子記録債務	1,818,751	1,837,816
短期借入金	1,921,304	1,345,012
未払法人税等	358,115	76,703
賞与引当金	207,954	125,431
引当金	25,694	25,694
その他	1,110,888	1,003,660
流動負債合計	8,253,944	7,341,123
固定負債		
長期借入金	746,184	1,355,650
預り保証金	938,019	961,724
退職給付に係る負債	68,027	64,518
その他	61,373	78,972
固定負債合計	1,813,603	2,460,865
負債合計	10,067,548	9,801,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,007,917	5,007,917
資本剰余金	4,120,573	4,120,573
利益剰余金	896,424	1,044,470
自己株式	41,892	41,948
株主資本合計	9,983,022	10,131,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,484	192,085
為替換算調整勘定	25,081	39,749
その他の包括利益累計額合計	116,403	152,335
少数株主持分	12,971	13,270
純資産合計	10,112,397	10,296,619
負債純資産合計	20,179,946	20,098,608

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,561,299	4,795,220
売上原価	3,076,421	3,193,676
売上総利益	1,484,877	1,601,544
販売費及び一般管理費	1,375,262	1,419,590
営業利益	109,615	181,953
営業外収益		
受取利息	151	72
受取配当金	9,945	9,675
不動産賃貸料	15,505	15,408
為替差益	3,544	1,829
その他	7,636	6,960
営業外収益合計	36,782	33,946
営業外費用		
支払利息	13,403	9,129
その他	2,175	2,396
営業外費用合計	15,579	11,525
経常利益	130,818	204,375
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	130,818	204,376
法人税、住民税及び事業税	95,095	74,439
法人税等調整額	34,225	18,737
法人税等合計	60,869	55,702
少数株主損益調整前四半期純利益	69,949	148,673
少数株主利益	276	627
四半期純利益	69,672	148,046

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,949	148,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,804	50,600
為替換算調整勘定	42,054	14,996
その他の包括利益合計	45,859	35,604
四半期包括利益	115,808	184,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,515	183,978
少数株主に係る四半期包括利益	1,292	299

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

手形債権の流動化による譲渡高は次のとおりです。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
受取手形の債権流動化による譲渡高	131,432千円	125,087千円

なお、受取手形の流動化に伴い、信用補完目的の保留金額（前連結会計年度52,493千円、当第1四半期連結会計期間50,259千円）を、流動資産のその他に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	74,767千円	78,527千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	合成樹脂加工品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,462,240	99,059	4,561,299		4,561,299
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	4,462,240	99,059	4,561,299		4,561,299
セグメント利益	32,891	76,723	109,615		109,615

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	合成樹脂加工品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,696,161	99,059	4,795,220		4,795,220
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	4,696,161	99,059	4,795,220		4,795,220
セグメント利益	105,668	76,436	182,105	151	181,953

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用151千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない減価償却費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1.45円	3.09円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	69,672	148,046
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	69,672	148,046
普通株式の期中平均株式数(千株)	47,927	47,921

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8 月 8 日

ロンシール工業株式会社
取締役会 御中

聖橋監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	平	山	昇	印	
指定社員 業務執行社員	公認会計士	朝	長	義	郎	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているロンシール工業株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ロンシール工業株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。